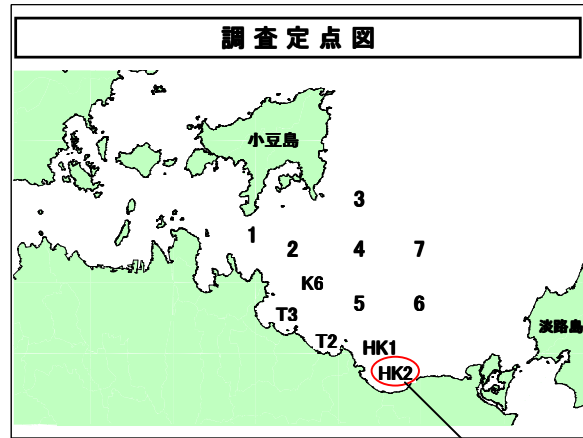


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2013. 9-1号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 2013年9月3日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点+臨時調査1定点(右図)



臨時調査点

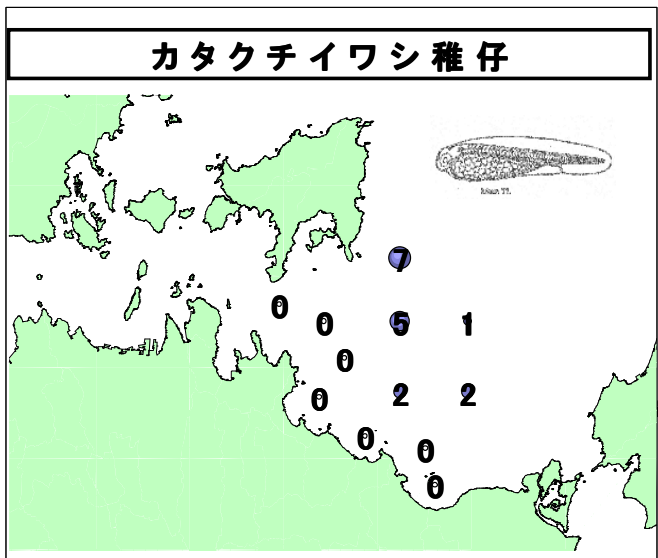
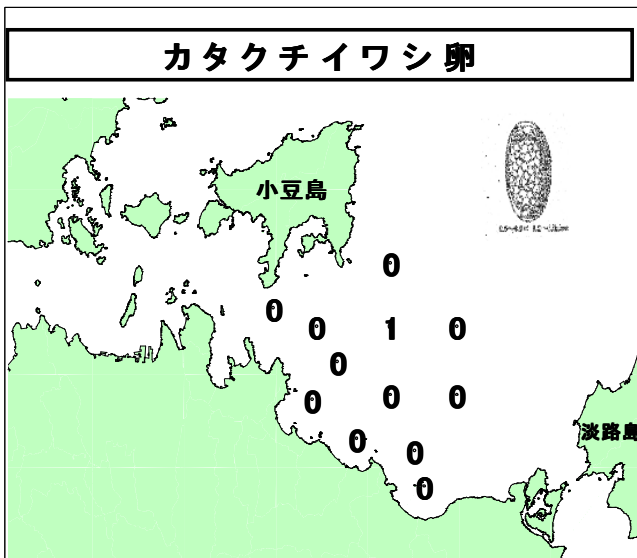
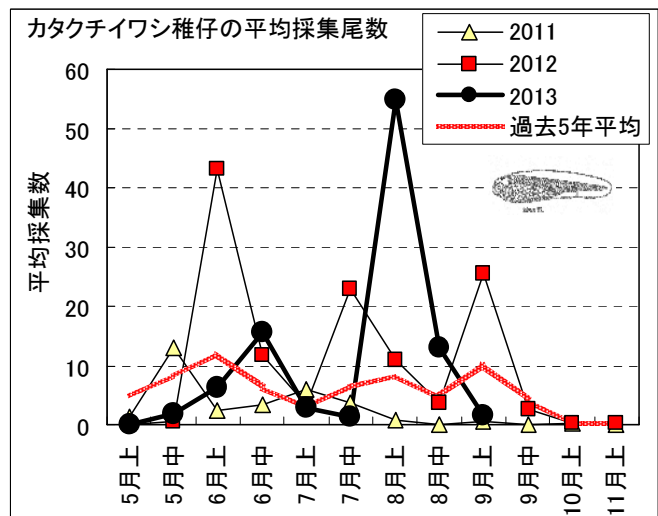
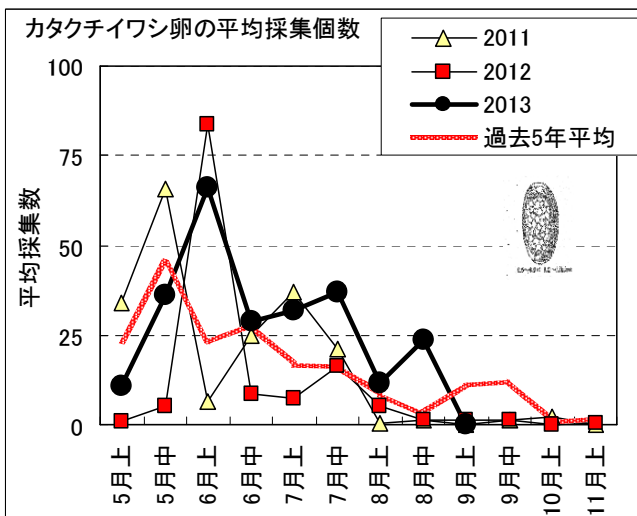
【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK1	HK2	T2	T3	K6	11点平均値
2011.9.5	0	0	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0.1
2012.9.4	0	0	0	3	2	6	0	0	-	0	0	1	1.1
2013.9.3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK1	HK2	T2	T3	K6	11点平均値
2011.9.5	0	0	0	0	1	0	1	1	-	1	0	1	0.5
2012.9.4	0	12	4	7	81	31	0	6	-	0	0	140	25.5
2013.9.3	0	0	7	5	2	2	1	0	0	0	0	0	1.5

- * 表中の「-」は未測定を表す。
- * 11点平均値: 臨時調査点を除く播磨灘11定点の平均値を表す。
- * グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



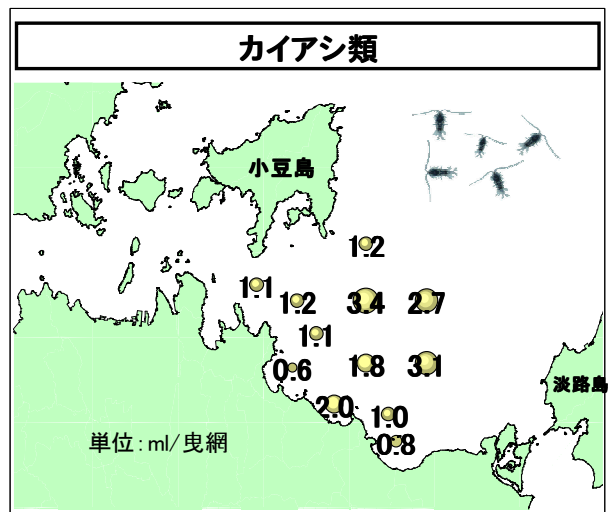
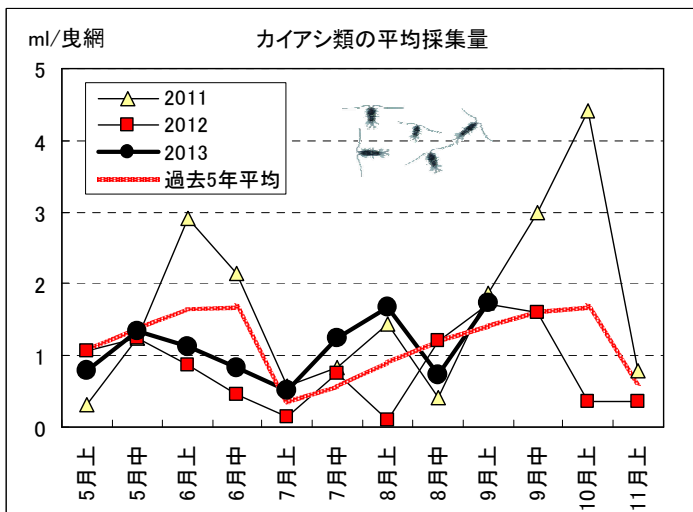
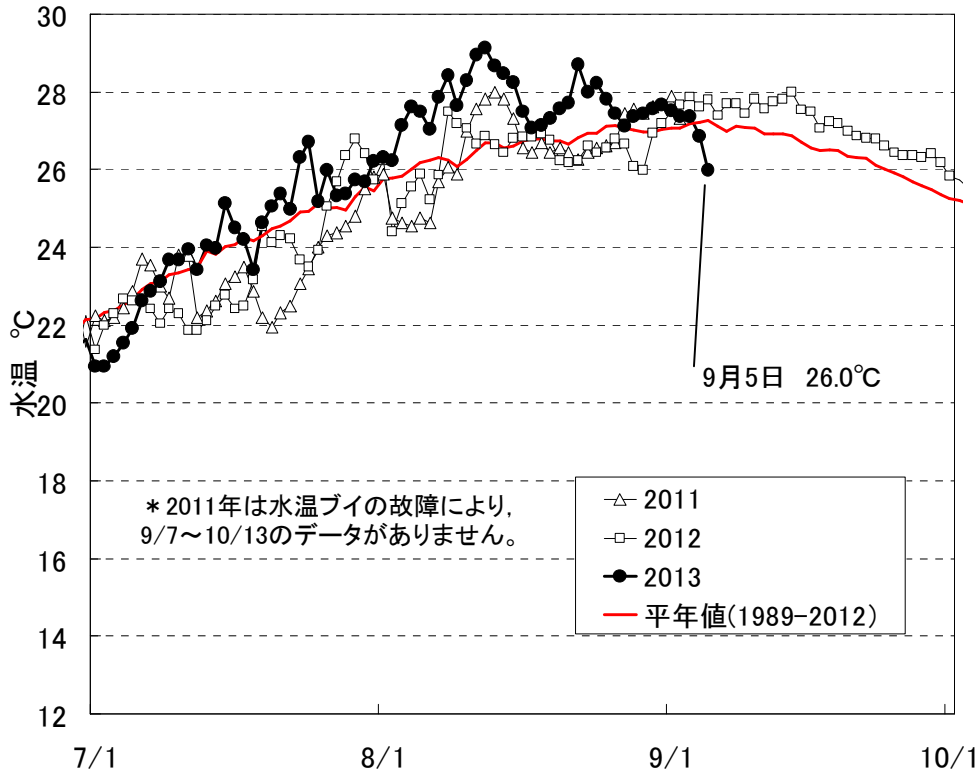
播磨灘11定点における卵の平均出現数は0.1個、稚仔の平均出現尾数は1.5尾で、卵、稚仔ともに前年及び平年(直近5年平均)を下回りました。

引田沖の水温(1.5m層)は8月中旬以降平年並みで推移していましたが、発達した低気圧の通過に伴いここ数日で急激に低下しています。

プランクトンは大型珪藻類のコシノディスカスが複数点で優占しました。カタクチイワシの餌料生物として重要なカイアシ類は前回より増加しており、平年並みの出現量でした。

【参考】

引田沖水温バイデータ(午前9時, 1.5m層)



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、9月18日に実施予定です。